

フィンドレー大学への協定校留学 3月分報告書

留学先大学；フィンドレー大学

氏名；高橋光子

【はじめに】

留学生活も、残り一か月間となりました。今回は、3月末の二泊三日のムスリムの宗教や文化を学ぶリトリートと、学内で行われた、アメリカで有名なラッパーの Yung Gravy のコンサートについてお伝えします。

【二泊三日のリトリート】

予算は、宿泊費・交通費・食費・アクティビティ費すべて含めて\$50でした。この二泊三日のリトリートは、主に Arabic Religion Culture について学ぶ、Arabic food を体験することが目的となっていました。一日目は、コミュニティモスクで、Worships を体験しました。質疑応答の時間も設けられており、今まで知らなかったことを詳しく知ることができました。ムスリムの大きな特徴である、ラマダンについても知ることができ、ラマダン明けの最初の食事であるデーツを試食しました。そのあとは、イエメン料理を食べに行きました。肉料理には、主にラム肉が使われていたり、ナスや豆をペースト状にしたソースが出てきたりと、新しい味や食感、組み合わせを楽しむことができました。二日目は、午前中に Arab American National Museum に行き、そのあとに、イラク料理のレストランでお昼を食べました。ミュージアムでは、歴史から、現代のアートまで幅広くアラブの文化に触れることができました。イラク料理は、味付けがとても、日本人好みでした。その後、コミュニティサービスセンターへ行き、子供に寄付するためのブランケットを、ESL の方々と作りました。ボランティア活動もできる場所は、このリトリートのとても魅力的な部分だと思います。この日の最後のイベントは、ミシガン大学で行われたカルチャーイベントでした。三つの学生の Culture Organization が主催で、色々な背景を持った生徒たちが、自分たちの文化をみんなに披露するというものでした。様々な国の料理を食べることができました。どの参加者もアイデンティティに誇りを持っていて、とても刺激を受けました。最終日は、まず、Yemeni coffee shop へ行き、Coffee Tasting をしました。二種類のコーヒーと一種類の紅茶、三種類のデザートを試しました。日本では、あまり見ない果物が使われていたり、新しいフレーズを試すことができたりと、とてもいい経験になりました。その後、Arabic Grocery Store でお見上げを買いました。デザートや、スパイス、紅茶などを買っている人がいました。この度の最後の場所は、朝食や昼食向けのレバノン料理のレストランでした。この二泊三日のリトリートで、様々な経験をすることができました。機会があったら、迷わずに参加することの大切さを改めて感じました。

【Yung Gravy のコンサート】

大学の体育館で、Yung Gravy のコンサートが行われました。UF の生徒は、安くチケットが買えるのでコンサートに行きました。このコンサートは、外部の人にも開かれていて、合計で 2000 人以上の観客が集まりました。物凄い盛り上がりで、みんな踊りながら歌いながら、コンサートを楽しんでいました。アメリカでコンサートに行けると思っていなかったのがとても嬉しかったです。

【おわりに】

留学生活も残り一か月となりました。悔いの残らないように、最後まで楽しみたいと思います。



